

平成28年度 第3回 宝塚市立図書館協議会 会議録

1 開催日時及び場所

平成29年2月24日（金） 午前10時15分～午後0時30分
宝塚市立中央図書館 研修室

2 出席者

委員（7名） 梓委員、柳委員、川島委員、平松委員、山中委員、
宗川委員、野田委員

事務局（7名） 中央図書館（森館長、藤野係長、近藤係長、花村係長、
永尾係長、西川係長）
西図書館（西田館長）

3 傍聴者 なし

4 協議経過等

〔1〕開会あいさつ

〔2〕議事

(1) 平成28年度事業報告について

(事務局) 〔①～④について一括説明〕

① 今年度の貸出し状況（冊数、人数）（1月末時点）について（資料①参照）

- ・まず、全館貸出人数は、532,549人で、前年同時期との比較（4月～1月）で0.3%（1,579人）の減となっていて、ほぼ前年と同様となっています。
- ・次に、全館貸出し冊数は、1,673,548冊で、前年同時期との比較で1.7%（29,566冊）の減となっています。

② 返却ポスト回収状況について（資料②参照）

- ・1月末時点で、前年同時期との比較で、9,130冊の増となっていますが、設置個所が2カ所（すみれが丘地区〔ラビスタ宝塚管理センター、28年3月設置〕及び逆瀬川駅前地区〔コープ宝塚、28年10月設置〕）増えたことによるものです。

③ 市民アンケート調査の実施について（資料③参照）

- ・今回のアンケートの送付は、無作為抽出した市民2,010人を対象に、2月中旬に発送済です。回答用紙については、「図書館を利用したことがある方」（青色）と「図書館を利用したことがない方」（桃色）の2種類を同封しており、どちらか一方に記入する形で実施しています。なお、2月末日を返送期限としています。

④ 「ぷちライブラリー小浜」（まちかど図書館）について

- ・平成28年10月より、市立病院横の、市立健康センター（小浜4丁目4-1）の中に、「ぷちライブラリー小浜」（まちかど図書館）を設置しており、健康センターの開館時間内に、だれでも自由に貸出・返却ができる形にしています。また、健診の待ち時間等にも、利用できます。

（委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明）

〔議事（1）について〕

〔返却ポイントについて〕

（委員）

- ・コープ宝塚への返却ポイントの設置はありがたいのですが、コープ宝塚まで行くには、逆瀬川の駅を降りた所の橋を渡っていかないといけないので、逆瀬川駅を出て、陸橋の上であれば、駅から降りてすぐの場所であるので、コープ宝塚に行く人もアピアに行く人も必ず通る所なので、返却ポイントを設置する場所として検討してほしい。

（事務局）

- ・提案いただいた場所を確認のうえ、検討させていただきます。

（3）（仮称）宝塚市立中央公民館開館に向けた意見集約の結果と意見に対する市の考え方の公表について（資料④参照）

（事務局）（説明）

- ・意見募集は、平成28年11月の1カ月間行われ、8件の意見提出がありました。
- ・その中で、No.6で「図書館で予約した本の公民館での受け取りを可能にする。」について、公民館と図書館とが協議するという回答になっています。
- ・公民館を受け取り場所とする場合の検討課題としては、予約本を集約して1カ所に集める作業が必要なことと、どれ位の件数が予想されて、事務量が公民館の受け付けで対応できる範囲なのかを考えておく必要があります。

(委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明)

[議事(3)について]

[サービスポイントの設置について]

(委員)

- ・意見を提出された方のイメージとして、分室的なものを作って欲しいということであれば、図書館側の負担が増えて大変だと思う。西図書館では、閉館後時間外に予約本の受取りサービスを行っていると聞いていますが、中央公民館での受け取りについては、中央公民館の位置づけや財政面も踏まえて検討されたい。

(事務局)

- ・公共施設での受け取り窓口があれば、利用者の利便性は図れるが、そのためには予約本を渡してもらう公共施設側の体制の整備が必要である。また、図書館の現在の体制で、予約本を用意して持っていくことが可能かどうかとも検討したい。

(4) 利用者の意見等について(資料⑤⑥参照)

(事務局)(説明)

- ・「広聴カード」によるご意見(資料⑤参照)(住所・氏名の記載のあるもの)は2件で、いずれも団体からのもので、「西図書館の民営化」についてと、「西図書館の新聞の複数購読」についてです。詳細については、資料をご覧ください。
- ・各図書館への「御意見箱」(資料⑥参照)(住所・氏名の記載があるもの)は2件で、「雑誌の購入に対する要望」と「英語の絵本の整備に対する要望」があがっています。詳細については、資料をご覧ください。

(委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明)

[議事(4)について]

[指定管理者制度、開館時間等について]

(委員)

- ・指定管理者制度を導入したら、早朝や夜間まで開館できるという面があるのか。

(事務局)

- ・ご意見にもあがっていますが、指定管理者では、人件費の総額がかなり低くなっており、スタッフの人数を揃えている点があり、三田市では年間ほとんど休館日なしで、夜間・早朝も開館している。

(委員)

- ・外部委託の問題点も昨今指摘されており、直営できめ細かなサービスを提供してほしいと思う。開館時間を延ばしても、ヘビィユーザーにとってはありがたいが、図書館の立

地条件も考慮する必要があり、必ずしも利用状況の増にはつながらない面もあると思う。
(事務局)

- ・本市も厳しい財政状況が続いており、各施設への指定管理者制度の導入が増えています。
- ・指定管理者の場合、一人当たり安い人件費で、人数を増やすことによって、長時間の開館が可能になっており、利用者から見て、利用時間を含めて、サービスの向上になっていると認識されている面がある。
- ・本市の場合、中央図書館、西図書館も、電車で通勤している人にとっては、清荒神駅、小林駅で途中下車しないといけないので、長い時間開館していても、利用がどれだけ増えるのか疑問だと感じています。実際に、7時まで開館時間延長している日の状況を見ても、6時までの利用者が、7時まで引き続いて利用している事例がほとんどで、6時台に新たに来館される利用者は少ない状況です。

(6) 教育委員会事務執行等評価について (平成27年度事業) (資料⑨参照)

(事務局) (説明)

- ・今回、「魅力ある図書館づくりを進めます」の施策が、教育委員及び外部評価者とのヒアリング対象とされました。
- ・いただいた意見としては、「図書館サービス向上計画」に基づき、利用者のサービス向上に向けた取り組みが着実に取り組んでいる点の自己評価は妥当で、国の基準も踏まえ計画の見直しが行われたこと、平成27年度から市のメール便を利用することにより、学校が市立図書館の本を借りやすくなった点は評価できるが、市立図書館と学校図書館システムとのつながりにより、蔵書の特色づけを行い、図書館数や開架が少ないといったことの解決にもつながるので、システムの連携が今後の課題だと指摘されています。

(委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明)

[議事(6)について]

[学校との連携等について]

(委員長)

- ・教育委員と外部評価委員のヒアリングの結果の意見として、学校との協力・連携が指摘されていますが、学校側から見てどう思われますか。

(委員)

- ・学校図書館にもシステムは入っていますが、市立図書館のシステムと比較して、容量や処理能力が小さいので、両方のシステムをつなげるのは難しいのではないかと思います。学校図書館システムは、市内の学校間の冊数に見合うシステム容量となっていて、教育総合センターのサーバーを使っています。なお、現在、必要な時には、学校間での相互貸出は行っています。

(事務局)

- ・学校から市のメール便を利用して、団体貸出を行いたいという要望は多く、事前にピックアップしたものの貸出や、選書にも協力しています。

(委員長)

- ・何か手助けできるものがあれば考えてほしいと思う。

[県立高校と市立図書館の連携等について]

(委員)

- ・県立高校と市との連携は、難しいと思っています。県立高校の先生たちは、一般の利用者と同じように市立図書館システムにアクセスする形になっています。
- ・新中央公民館の建設に対する市民の意見のところで説明がありましたが、新中央公民館が予約本の受取り場所となれば、利用者としてはありがたい。

(事務局)

- ・学校が予約本の受取り場所となった場合、生徒だけではなく父兄も借りるという状況が想定され、大量の本を運搬することが可能かどうかの検討が必要だと思う。

[地元図書館の利用について]

(委員)

- ・高校も含めた学校や市民に、地元の図書館を利用しましょうといった形のプロモーション活動はされていますか。

(事務局)

- ・プロモーション活動等の働きかけは、特に行っていない。
- ・中央図書館には閲覧室があって、自習での利用も可能で、高校生がよく自習で利用しています。我々としては、高校生の来館する機会をとらえて、図書館のPRを行って、図書館利用につなげていきたいとは思っています。

(7) 平成29年度事業計画について

(事務局) [①～④について一括説明]

① 図書購入費の状況について (資料⑩参照)

- ・平成29年度の図書購入費は、前年度と同額で、中央図書館・西図書館の両館合計で、3,700万円となっており、平成25年度から5年間同額となっています。市の厳しい財政状況下で、横ばいの状況となっていますが、継続的に確保できていると認識しています。今後も、図書資料の充実と予算の確保に努めたいと思います。

② 平成29年度予算案について (資料⑪参照)

(経常経費について)

- ・経常経費については、平成29年度においては、前年度(平成28年度)の配分額の2%カットの方針により、予算編成が行われています。
- ・中央図書館の経常経費分としては、6,204万円で、前年度と比較して、106万2千円の減額となっています。また、西図書館の経常経費分としては、2,566万9千円で、前年度と比較して、72万7千円の減額となっています。

(実施計画関連分について)

- ・新規事業分としては、平成30年度のコンピュータシステムの更新に伴い、データ移行費用として、中央図書館で486万円を計上しています。
また、新システムのメンテナンスリースの経費として、5年間(平成30~34年度)の経費として、9,800万円を債務負担行為として計上しています。
- ・西図書館では、防災監視盤(火災等が発生した時に、ランプがついて異常を把握する機械:事務室に設置)を老朽更新する予定で、796万2千円を計上しています。

③ コンピュータシステムの更新について

- ・現在のコンピュータシステムは、リース期間の5年を過ぎて、老朽化して、保守期間が切れていますが、今年度も再リースを行っており6年目になり、リースに要する経費は安くなっています。今後、平成29年度も再リースを継続し、平成30年4月に新システムに更新する予定ですので、通算して現在のシステムを7年間使う形になります。
- ・システム全部を入れ替えるのですが、できあがったパッケージシステムを、我々が使いやすい形にカスタマイズする流れを考えており、現在、システムを扱える会社に対しての提案を募るための仕様書等の準備作業中です。新年度に、公募型プロザールの方式で提案してもらい、使用するシステムを決めて、リース契約を行う予定です。

④ 山本南分室の開室時間の拡大について

- ・山本南分室については、現在、週5日32時間30分の開室となっていますが、利用者へのサービス向上を図るため、新年度より開室時間を拡大し、木曜日の午前中も開室することとし、週5日35時間の開室とします。

(委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明)

[議事(7)について]

[コンピュータシステムの更新について]

(委員)

- ・コンピュータシステムの更新に関して、利用者へのメリットを図ることは当然ですが、職員が行う業務に対するメリットの面もアピールして、提案者に出してもらったらいいいのではないかと。

(事務局)

- ・現在のシステムへの切り替えの時に振り返ってみると、それまでと比較して、利用者にとっても、職員にとっても、便利になったと気づく点はいろいろありました。
- ・今回の新システムへの切り替えにあたっては、従前できていたことは引き続きできるようにし、職員の個々の内部の仕事についても、一括でまとめてやれるような方向を検討したいと思う。
- ・なお、ICタグの導入に伴う図書館サービスについては、図書館協議会として、先進地を視察していただきましたが、予算化は認められなかったもので、これまでと同様に、貸出・返却等の接客は人の力でやっていく形になります。

(委員長)

- ・新システムの切り替えにあたっては、切り替えた後で、職員への負担があまりかからない形も考えておく方がいいのではないかと。

(事務局)

- ・新システムにおいて、省力化できる部分は努力して導入していかないといけないが、書評の部分の導入は難しいと思っています。

[兵庫県立人と自然の博物館との連携について]

(委員)

- ・来年度予算案の資料で、西図書館の役務費において、前年度と比較して、人と自然博物館実施分10万円減となっていますが、どんな事業内容なのか。

(事務局)

- ・今年度は、「兵庫県立人と自然の博物館」と連携して、宝塚の自然観察会を実施しましたが、全体予算との調整の中で、来年度予算案には計上していないので、前年度と比較して10万円の減となっています。

(委員)

- ・子どもたちが喜ぶ事業だと思うので、今後検討いただけたらと思う。

[公民館駐車場の有料化について]

(委員)

- ・私は、子どももいて、本をたくさん借りるので、駐車場の無料時間の範囲の30分間で、本を必死に探して車で借りて返っています。
- ・図書館の利用者も利用している東公民館と西公民館の駐車場が有料化されれば、図書館の利用が減るのではないかと。

- ・電車では図書館へ行きにくい環境の人もいるので、図書館へ行きやすい環境を作ることが重要であり、利用しやすい駐車場であってほしいと思う。
- ・財政的な面もあると思いますが、有料化について再検討の余地はないのでしょうか。
(事務局)
- ・市の方針として、新中央公民館のオープン時に、新中央公民館の駐車場を有料化し、それに併せて、東公民館と西公民館の駐車場も有料化することとされています。
- ・貸出状況を見ても、中央図書館よりも、無料駐車場を利用できる西図書館の方が、貸出冊数が多い。利用者にとっては、無料が一番いいと思うが、施設を利用していない方が駐車場に車を止めている事例もあり、管理上の問題も生じています。
- ・有料化にあたっては、一定時間内の利用は無料とされると思います。
- ・なお、有料化に伴い、図書館の利用状況に影響するものと予想はしています。

(2) 先進地視察（豊中市立千里図書館、箕面市立中央図書館）について（意見交換）

(事務局) (説明)

- ・前回、10月25日に、図書館協議会として、6名の委員の方に、ICタグを利用した図書館運営を行っている先進事例として、豊中市立千里図書館と箕面市立中央図書館を視察いただきました。

(5) 情報提供について

(事務局) (説明)

- ・情報提供につきましては、「広報たからづか」掲載分（資料⑦参照）と、「新聞記事等の関連記事」（資料⑧参照）を提出しております。詳細については、資料をご覧ください。

(委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明)

[議事(2)及び(5)について]

[視察に参加された委員の感想等について]

(委員)

- ・箕面市立中央図書館は、公共施設が複合的に配置された中にあり、立地条件も良く、駐車場もあって便利だと感じた。開架スペースが広く、書架の高さが低くて、上の段の本をとるのも不便は感じない点等が印象的だった。

(委員)

- ・豊中市立千里図書館は、休館日が毎月1日だけで、人員体制やコスト面を考えた場合、サービスが充実しているのか、ある意味不安を感じる部分もある。逆に、もう少し、シンプルでコンパクトな形の運営でもいいのかなと感じた。時代の流れは当然ありますが、

昔ながらの図書館も一つのあり方だと思う。

- ・箕面市立中央図書館では、コーヒーを飲めるコーナーもあって、最近の流れを取り込んでいると感じた。

(委員)

- ・豊中市立千里図書館、箕面市立中央図書館の両館とも、施設的にもすばらしく、ＩＣタグにより管理されており、機械に合わさないと貸出も出来ない面があり、人による応対の場合と比較して、柔軟性が欠けていると感じる部分がある。
- ・プライバシーの保護についての利点はあるが、基本的に、その機械システムしか利用できないので、もう少し柔軟性があってもいいのではと感じた。

(委員)

- ・豊中市立千里図書館では、図書館全体に活気を感じた。高校生と連携して、本のコーナーを作ったりして、ヤングアダルトに対するサービスの充実に努めていると感じた。

(事務局)

- ・図書館に対して求められる機能については、以前とは違ってきていて、交流の場所の提供や、さまざまな支援を行う場所としての必要性が言われている。
- ・さまざまな支援の中で、豊中市立千里図書館では、就労支援に力を入れていて、本市でも取り入れることができないかと考えているが、本市の立地条件で、どれだけの人が就労支援を利用することが可能かという入口の部分で悩んでいる。

(8) 意見交換等

[学校へのサポート、コンピュータシステム更新、サービスポイントの増設等について]

(委員)

- ・学校へのサポートについて、学校図書館司書の専門性の向上に関して、市教育委員会や市立図書館として、どんなことが出来るのか。また、レファレンス支援に関して、学校で対応出来なかったレファレンスについて、市立図書館でサポートすることは可能か。
- ・コンピュータシステムを新しくする時に、APIの公開を考えたかどうか。
- ・読書の履歴の確認については、利用を申し込んで初めて使えるオプトインの方向が重要であると思う。
- ・公民館の駐車場の有料化を避けることが難しいのであれば、市民がよく利用するスーパー等の近くに、返却・貸出のサービスポイントを設けてはどうか。小中学校や公共の場所等、サービスにアクセスできる場所を増やしていくことが今後重要だと思う。

(事務局)

- ・学校図書館司書の専門性の向上については、学校図書館司書が集まって研修会を実施し、また、交流会で意見交換をする機会を設けるなど、継続的に取り組んでいきたい。なお、レファレンス支援については、学校図書館へ司書が配置されて3年経過しているが、まだ経験も十分ではないと思われるので、どこまでできているのかは疑問ですが、

時々質問を受けることはあります。図書館への質問に対して、一つずつ答えていく中で、聞きやすい環境にしていきたいと思う。

- コンピュータシステムを新しくする時に、APIの公開については、考えています。
- 今後、サービスポイントの増設にあたっては、スーパー等も検討に加えたいと思う。

5 閉会